

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15 年 8 月 11 日

上場会社名 日本農産工業株式会社

(コード番号:2051 東証・大証・名証 第一部)

(URL <http://www.nosan.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 三好 正俊

(TEL:(045)224 3703)

問合せ先 責任者 経理部長

富沢 健

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に : 無

おける認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	26,428	()	591	()	568	()	267	()
15 年 3 月期第 1 四半期	()	()	()	()	()	()	()	()
(参考)15 年 3 月期	113,134		2,039		2,179		1,157	

	1 株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16 年 3 月期第 1 四半期	2	16	2	16
15 年 3 月期第 1 四半期				
(参考)15 年 3 月期	9	00		

(注)当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載していません。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当連結第 1 四半期におけるわが国経済は、株価上昇や米国経済の回復期待で不安心理が薄れてはきたものの、デフレ圧力は消えておらず、依然として経営環境は厳しい状況が続いています。

飼料・食品業界では、畜産飼料において本年 4 月に為替相場・原料情勢等から、飼料価格の値下げを実施しましたが、一方で畜産物については消費低迷、生産過剰、BSE 代替需要の反動等から市況が大きく悪化しました。また、畜産物等の市況は、これらの個別要因のほか、通常その需要期である秋冬に上昇する傾向があり、当社グループの業績はこのような季節要因をもベースとしており、売上高・利益ともやや下期片寄り型となっています。

これらを背景にして事業別状況は以下のとおりです。

【飼料事業】

畜産飼料の販売数量は前年同四半期をやや上回りましたが、畜産物相場の低迷などから生産者サイドでの競争は厳しさを増してきています。水産飼料は、鰻用・銀鮭用を中心に販売数量は前年同四半期を上回るとともに、昨年実施した飼料価格値上げも浸透する状況となりました。

【食品事業】

畜産物の生産過剰による相場低迷、デフレ下の低価格志向などによりヨード卵等の販売数量は前年同四半期をやや下回りましたが、業務用ヨード卵の拡販努力が実を結び始めています。

【ライフテック事業】

ペットフードは販売数量が前年同四半期を上回っており、販売状況は回復基調にあります。中でも新しい芽である動物病院向けフードとしての療法食用の専用製造設備が 5 月より稼働したことなどを起爆剤にさらに拡販を見込んでいます。また、バイオ新分野においては、マイクロソームの販売および受託試験、生殖医療分野資材の販売を中心に前年同四半期を大きく上回って順調に伸長しています。

以上の結果、売上高は 5 月 14 日発表の当連結業績予想における中間期のほぼ 2 分の 1 を達成しましたが、経常利益、純利益はやや低調となりました。

- ・売上高 26.4 億円 (当中間期業績予想に対する進捗率 49.9%)
- ・経常利益 5.68 百万円 (同進捗率 40.6%)
- ・四半期純利益 2.67 百万円 (同進捗率 44.5%)

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	57,461	18,083	31.5	146 22
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	58,358	18,160	31.1	146 67

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	172	304	723	1,118
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	4,228	1,596	1,839	1,973

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は平成15年3月末と比較して896百万円減少し、株主資本が77百万円減少した結果、株主資本比率は0.4%改善しました。

増減の主なものは、資産では現金及び預金が854百万円減少しましたが、投資有価証券は上場株式の時価回復等で195百万円増加しました。負債では長短借入金が301百万円、未払法人税等262百万円、支払手形及び買掛金184百万円などが減少しました。

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前第1四半期純利益563百万円及び減価償却費572百万円があったものの、仕入債務及びその他流動負債の減少432百万円、法人税等の支払340百万円などがあったことにより、172百万円の増加にとどまりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出360百万円などにより304百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済301百万円及び配当金の支払322百万円などにより、723百万円の減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第1四半期末残高は1,118百万円となり、前期末に比べ854百万円の減少となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	53,000	1,400	600	
通期	110,000	2,800	1,400	11 13

[業績予想に関する定性的情報等]

当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が予想されますが、第2四半期以降においても総人員の削減、生販コストの引き下げ、新製品の発売など競争力の強化と収益体制の構築に取り組んでまいります。従って、5月14日に発表した中間期及び通期の業績予想の修正は行いません。

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	当第1四半期 (15.6.30)		前 期 末 (15.3.31)		負 債・資 本 の 部	当第1四半期 (15.6.30)		前 期 末 (15.3.31)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
I 流 動 資 産	26,841	46.7	27,806	47.7	I 流 動 負 債	31,849	55.4	33,040	56.6
現金及び預金	1,118		1,973		支払手形及び買掛金	10,862		11,047	
受取手形及び売掛金	16,925		16,976		短 期 借 入 金	15,711		16,403	
た な 卸 資 産	5,715		5,827		そ の 他	5,275		5,589	
そ の 他	3,285		3,254		II 固 定 負 債	7,528	13.1	7,157	12.3
貸倒引当金	△ 204		△ 225		長 期 借 入 金	4,767		4,377	
II 固 定 資 産	30,620	53.3	30,551	52.3	退職給付引当金	2,244		2,347	
1 有 形 固 定 資 産	21,866	38.0	22,020	37.7	そ の 他	516		432	
建物及び構築物	8,896		9,032		負 債 合 計	39,378	68.5	40,197	68.9
機械装置及び運搬具	6,638		6,891		少 数 株 主 持 分	—	—	—	—
土 地	5,420		5,415		I 資 本 金	7,411	12.9	7,411	12.7
そ の 他	911		681		II 資 本 剰 余 金	2,731	4.8	2,731	4.7
2 無 形 固 定 資 産	148	0.3	138	0.2	III 利 益 剰 余 金	8,510	14.8	8,760	15.0
3 投 資 そ の 他 の 資 産	8,604	15.0	8,392	14.4	IV そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	373	0.6	200	0.3
投資有価証券	5,929		5,734		V 自 己 株 式	△ 944	△ 1.6	△ 944	△ 1.6
そ の 他	2,812		2,795		資 本 合 計	18,083	31.5	18,160	31.1
貸倒引当金	△ 137		△ 137		負 債・少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	57,461	100.0	58,358	100.0
資 産 合 計	57,461	100.0	58,358	100.0					

四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	当第1四半期 自 15. 4. 1 至 15. 6. 30		前 期 自 14. 4. 1 至 15. 3. 31	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	26,428	100.0	113,134	100.0
売 上 原 価	22,262	84.2	95,583	84.5
(売 上 総 利 益)	(4,165)	15.8	(17,550)	15.5
販売費及び一般管理費	3,574	13.6	15,511	13.7
営 業 利 益	591	2.2	2,039	1.8
営 業 外 収 益	117	0.5	579	0.5
受取利息及び配当金	59		103	
そ の 他	57		475	
営 業 外 費 用	140	0.5	439	0.4
支 払 利 息	77		284	
そ の 他	62		155	
経 常 利 益	568	2.2	2,179	1.9
特 別 利 益	47	0.1	435	0.4
固定資産売却益	47		423	
その他の特別利益	-		12	
特 別 損 失	51	0.2	1,415	1.3
固定資産売却損	11		500	
その他の特別損失	40		914	
税金等調整前第1四半期 (当 期) 純 利 益	563	2.1	1,199	1.0
法人税、住民税及び事業税	78	0.3	494	0.4
法 人 税 等 調 整 額	219	0.8	452	0.4
第1四半期(当期)純利益	267	1.0	1,157	1.0

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期	前 期
	自 15. 4. 1 至 15. 6.30	自 14. 4. 1 至 15. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前第1四半期(当期)純利益	563	1,199
2. 税引前利益の調整		
減価償却費	572	2,400
引当金の増加	131	363
その他の増減	34	712
3. 資産及び負債の増減		
売上債権の減少	50	3,553
棚卸資産の減少	111	252
その他の流動資産の増減	254	182
仕入債務の減少	184	3,416
その他の流動負債の増減	247	724
4. 法人税等の支払額	340	1,018
合 計	172	4,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 固定資産の取得	360	2,494
2. 固定資産の売却	41	790
3. 投資有価証券等の増減	0	441
4. 貸付金の増減	8	45
5. その他投資等の増減	6	503
合 計	304	1,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の減少	900	580
2. 長期借入金の実行	1,070	1,600
3. 長期借入金の返済	471	1,465
4. 配当金の支払	322	320
5. 自己株式の取得	0	803
6. その他	99	270
合 計	723	1,839
現金及び現金同等物の増減額	854	792
現金及び現金同等物の期首残高	1,973	1,181
現金及び現金同等物の第1四半期(期末)残高	1,118	1,973